きたおおじ保育園

2022年度　園だより　１０月

２０２２年１０月３日発行

＜愛されて育つ＞

どんな環境でも、そばにいる大人が愛してくれていたら、子どもはきちんと育つ。これはきたおおじ保育園が大切にしている思いです。抱きしめる腕の隙間から溢れ出るほどの優しさと温もりを、い～っぱい心に流し込んでもらって、きたおおじ保育園の子どもたちは大切な乳幼児期を育つのです。それは今も変わらず大切な保育方針なのですが…。

＜どんな環境でも？＞

保育園のバスに子どもが置き去りになった事件をきっかけに、全国の保育園、認可園も、認可外も、送迎バスがあってもなくても、すべてに国からの安全点検の通知が届きました。もちろんきたおおじ保育園にも通知が届きました。しかし、どれだけ安全点検をしっかり行っても、園児のその時々の状況や、保育士の余裕がない環境など、現場は常に事故が起きるリスクと向き合っています。多くの保育園では、業務負担が大きい、人手が足りない、余裕がない、そういった保育士の声が聞かれます。安全点検だけではなく、保育環境の見直しについても、国に強く期待したいところです。

＜応答的環境＞

お部屋の家具や玩具を揃える「物的環境」、保育士の適正な人数配置を行う「人的環境」まずはそういった環境を整える事がとても大切な事です。そこから保育士の余裕が生まれ、事故の無い、安全で質の高い保育環境が整うのです。

そして保育士が心掛けるべき、子どもたちにとって大切な環境が「応答的環境」です。

＜ステキなやり取り＞

きたおおじ保育園の子どもたちは、いま「指差し」がとてもさかんになってきています。指さしは言葉が出る前の大切な会話のツールです。大事なのは、それが「要求」なのか？「発見」なのか？何を伝えたいのか？それを感じ取ることです。そして、そこに応答する事こそが、とっても大切！もしも受け取り方が間違っていたとしても、本来の要求に近づこうと努める大人と「基本的信頼感」が作られていくのです。言葉のやり取りが満たされない今だからこそできるステキなやり取りを、どうかお家でも満喫してください。

＜新しい仲間＞

１０月に入ります。ようやく危険な暑さも落ち着き、気持ちの良いお散歩を楽しめるようになりました。そして！きたおおじ保育園にまた新しい仲間たちが加わります！！ますますにぎやか、パワーアップ！！！仲間が増えるに伴い、これまで以上に質の高い保育を目指します。穏やかで心地よく安心できる保育環境を整え、子どもたち一人ひとりにしっかり応答をして、そして何よりも、愛される存在として、この子どもが、この子どもらしい事を大切に、日々の保育をおこなっていきたいと思います。　どんぐりを鼻の穴に入れちゃダメだよ～！

主任保育士　糸井恵太

きたおおじアルバム

<1０月の予定>

３日（月）園だより発行
５日（水）身体測定
７日（金）歯科検診
１７日（月）次月献立配布
２４日（月）防災の日
２８日（金）お誕生会
３１日（月）ハロウィン

※お誕生会の日程を２８日に
変更いたしました。